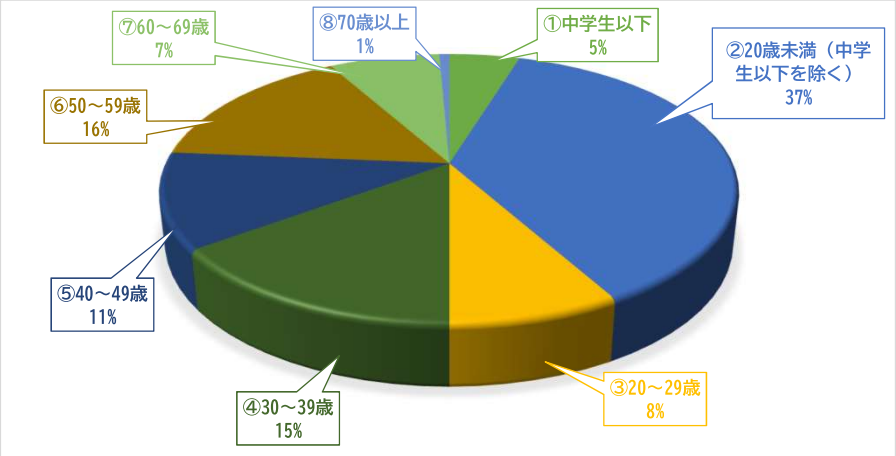
第２回 北方領土問題や啓発活動に関するアンケート調査結果

調査期間：R4.4.1～R5.3.31（回答数148件）

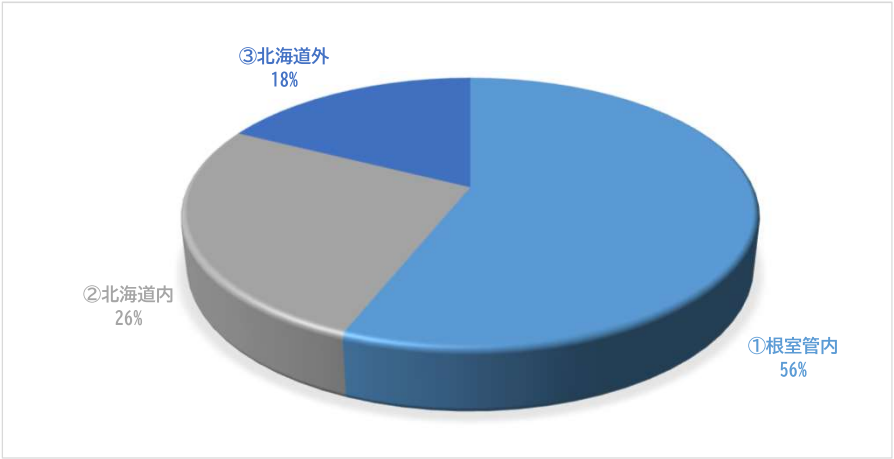
1 年齢

①中学生以下　②20歳未満（中学生以下を除く）　③20～29歳
④30～39歳　⑤40～49歳　⑥50～59歳
⑦60～69歳　⑧70歳以上



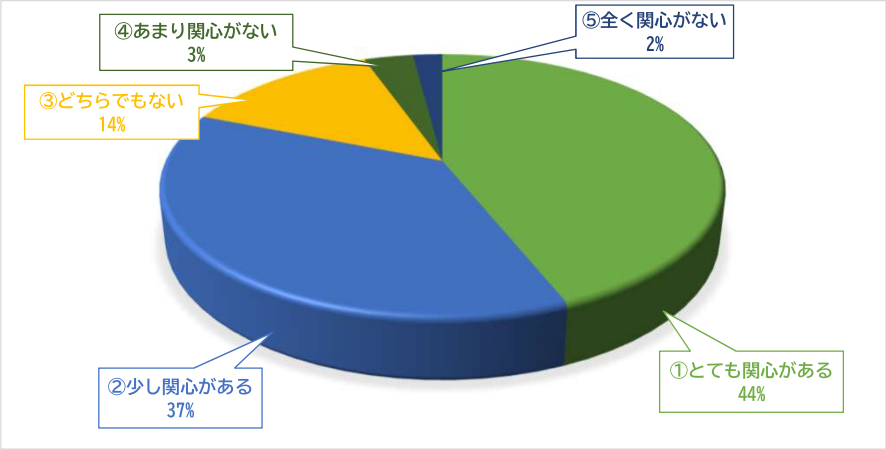
2 居住地

①根室管内　②北海道内　③北海道外



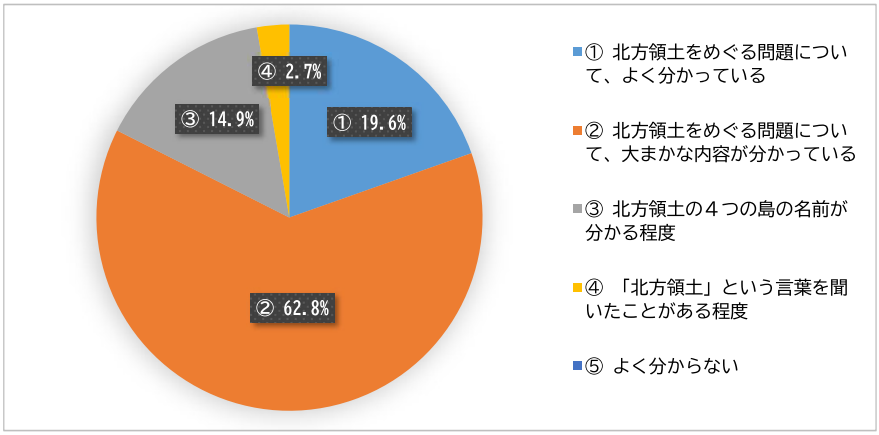
3 「北方領土問題」について関心がある

①とても関心がある　②少し関心がある　③どちらでもない
④あまり関心がない　⑤全く関心がない



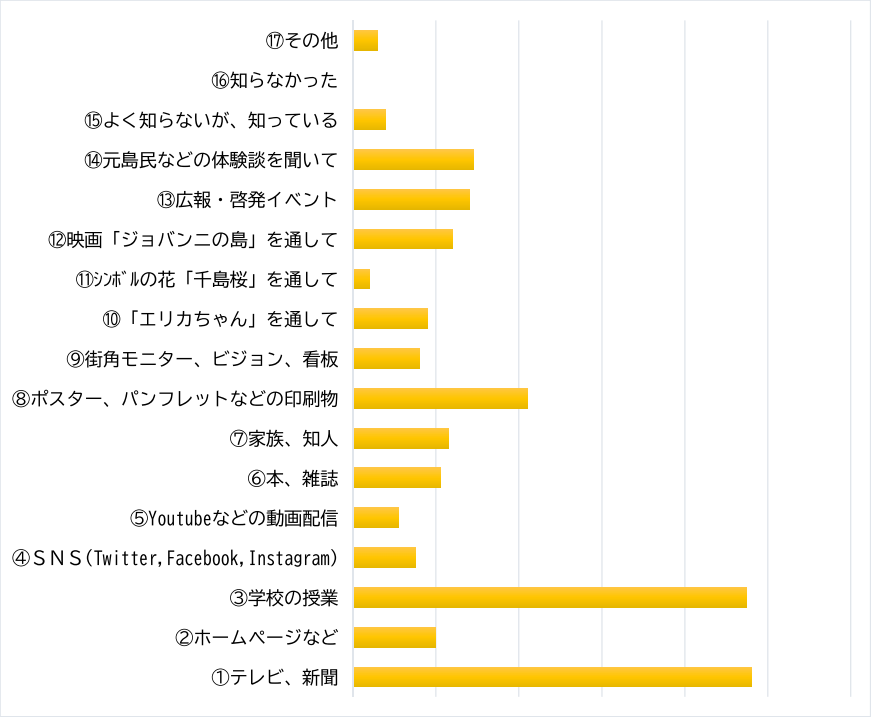
4 北方領土問題について知っていることを選択してください

①北方領土をめぐる問題について、よく分かっている
②北方領土をめぐる問題について、大まかな内容が分かっている
③北方領土の４つの島の名前が分かる程度
④「北方領土」という言葉を聞いたことがある程度
⑤よく分からない



5「北方領土」及び「北方領土問題」について何から知りましたか？（５個まで選択可）

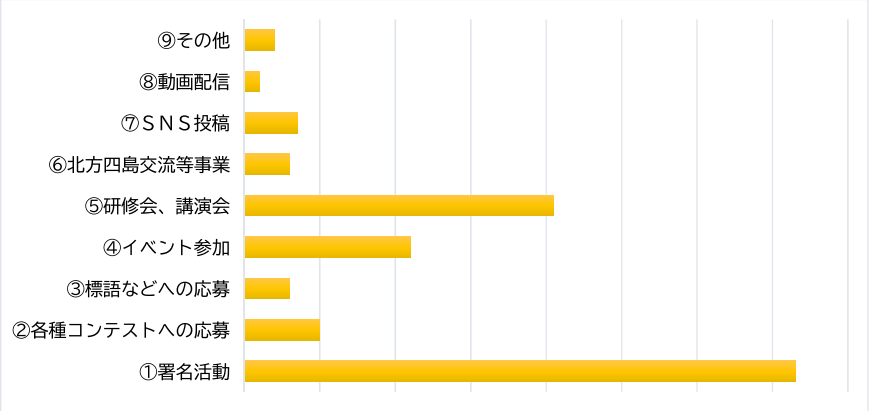
①テレビ、新聞　②ホームページなど　③学校の授業
④ＳＮＳ(Twitter,Facebook,Instagram)　⑤Youtubeなどの動画配信　⑥本、雑誌
⑦家族、知人　⑧ポスター、パンフレットなどの印刷物　⑨街角モニター、ビジョン、看板
⑩「エリカちゃん」を通して　⑪ｼﾝﾎﾞﾙの花「千島桜」を通して　⑫映画「ジョバンニの島」を通して
⑬広報・啓発イベント　⑭元島民などの体験談を聞いて　⑮よく分からないが、知っている
⑯知らなかった　⑰その他



⑰その他
・旅行に来ていて
・北方領土に関する施設
・仕事柄、学ぶ機会がある
・知床へ旅行に行き知床峠で国後島を見て関心を持った

6 参加したことのある活動は？（５個まで選択可）

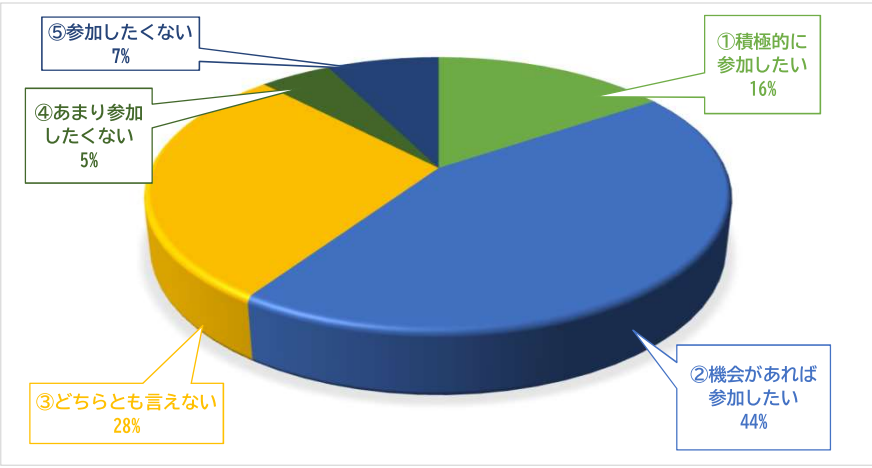
①署名活動　②各種コンテストへの応募　③標語などへの応募
④イベント参加　⑤研修会、講演会　⑥北方四島交流等事業
⑦ＳＮＳ投稿　⑧動画配信　⑨その他



⑨その他
・特にない

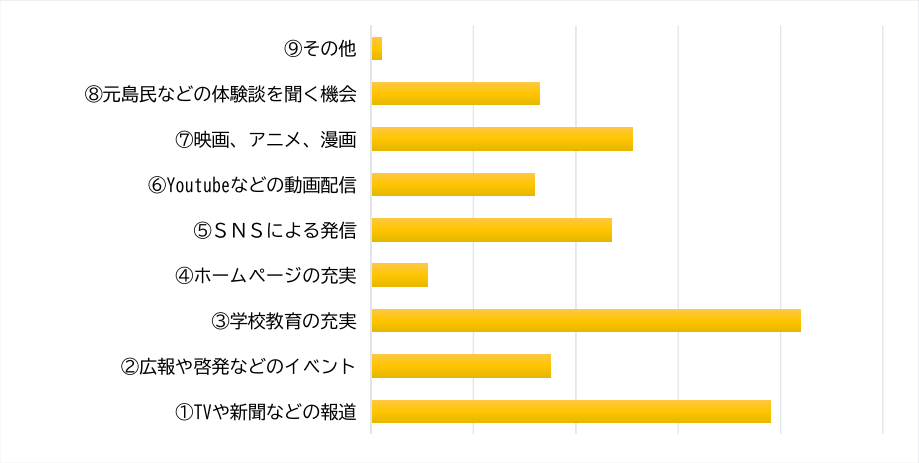
7 今後、北方領土返還要求に関する啓発活動に参加してみたいと思いますか？

①積極的に参加したい　②機会があれば参加した　③どちらとも言えない
④あまり参加したくない　⑤参加したくない



8 今後、多くの方々に北方領土問題に関心を持ち、理解を深めてもらうには、どのような取組が効果的だと思いますか？（３個まで選択可）

①TVや新聞などの報道　②広報や啓発などのイベント　③学校教育の充実
④ホームページの充実　⑤ＳＮＳによる発信　⑥Youtubeなどの動画配信
⑦映画、アニメ、漫画　⑧元島民などの体験談を聞く機会　⑨その他



⑰その他
・今回のようなカードラリー、スタンプラリーなど。普段行くことのない施設に行けました。

9 返還要求運動へのご意見や、元島民の方々へのメッセージなど、ご自由にご記入ください。

（メッセージの一部を紹介します）

- 早く島が返ってくるといいですね。頑張って下さい。
- 観光目的でノサップ岬を訪れた際に、隣接する北方領土に関する施設を見学した事が北方領土問題に触れるきっかけとなりました。
- 根室管内の市町村には北方領土に関する啓発看板が非常に多く、自然と目にする機会も増え、北方領土問題の存在を知るきっかけになるかと思います。
- エリカちゃんの活動を通じて関心を持ち、また実際に根室等へ旅行し関連施設を見学したことで、この問題が国家防衛上の課題であること及び元島民が今なお苦しんでいることを知り他人事ではないと考えるようになりました。
- 一道民として皆様の活動を応援しております。
- このような取り組みを通じて返還される日を願っています。私もこのような啓発活動に今後も取り組んでまいります。
- 大変難しい問題ですが、極めて近い島々を見るたびに元島民や活動を行っている方々の、努力に感慨を覚えます。
- 釧路や根室に行く度に現地での返還要求活動や広報活動の熱を感じるが、残念ながら道外ではそのような活動は皆無に等しく温度差が大きい。残念である。
- なかなか、自分の身近な問題では無いと軽視しがちなので、学生の間には考える機会があると良いなと強く思いました。
- 私たちが積極的に言葉にだし返還が実現できるよう努力します。
- 研修などを通して自分にできることを考えられたので少しでも早く返還されるように私も頑張りたいです。
- 北方領土問題は授業で聞きましたが、詳しくは習いませんでした。日本人として大切な問題だからこの夏の家族旅行で北海道を訪れて、より詳しく勉強したいと思っています。
- 元島民がご存命のうちに交流事業が再開することを祈ります。
- わかりやすい絵本や漫画があれば読んで理解を深めたい。活字だと後回しにしたり、とっつきにくい部分があるので。
- このようなカードラリーは北方領土の情報を知るためのきっかけになりました。小さな子を連れて参加しましたが、キャラクターカードということで、大人も子供も一緒に楽しめました。
- 今回家族で訪れました。根室は少し距離がありましたが、こんな立派な施設が身近にあったのかと（ニ・ホ・ロ）初めて知りました。
- 根室管内の市町村がそれぞれ関連施設を作っていてどれもこじんまりとして内容が薄いし、バラバラ感がある。
- 基本、日本がやった事もきちんとつたえるべきだと思う。加害者が被害者になった事も伝えないとね。
- そして、北方領土在住のロシアの方と元島民の方、次の世代の方が行き来でき平和に交流できる日がくることを祈ってます。
- 頑張って下さい